

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援KAOKAO		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームでの支援の意識の高さ</li> <li>「ほうれんそう」の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのような事についてもレスポンスの速さと正確な判断</li> <li>PDCAの活用</li> </ul>	日々のミーティングで全員が周知して対応できるようにしておく
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心・楽しく帰って頂く事</li> <li>各児童の特性の理解、対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の特性と対応・送迎表ダブルチェックによるミス軽減を 目指している</li> <li>忘れ物ができるだけ無くなる仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者のニーズに出来るだけ答えていく。</li> <li>適宜のアセスメントの見直し</li> <li>送迎時の保護者からの聞き取り</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>共有ラインの有効活用</li> <li>※保護者用・社員用、利用についての用、管理者各個人ライン</li> </ul>	保護者にデイでの様子を保護者の画像共有を行う	できるだけ早く送信する様に担当を作っている。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム作成</li> <li>取り組み方法</li> <li>準備・実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加料金や企画日に利用される児童の障害特性や 楽しめるか、スタッフの配置、安全性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのようなプログラムも問題なく安心安全であることの 重要性の把握をして、出来るだけ多くの参加を目指す。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職員のスキルアップが難しい</li> <li>児童の側にいながら職員同士で無駄話をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格・研修の参加でスキルアップができるように 研修計画を事務所に掲示</li> <li>児童中心の対応を行い連携を取り、職務を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職務に徹する</li> <li>各ケースの話し合える時間を少しでも作る</li> </ul>
3	事務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>各担当の内容を事務所に貼り視覚化</li> <li>ICT化の多様な促進</li> </ul>	チェック体制を見直しノーマスを目指す